



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東
 コード番号 7676 URL <https://goodspeed-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	12,838	6.5	△175	-	△223	-	△162	-
2022年9月期第1四半期	12,059	-	97	-	36	-	3	-

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △162百万円 (-%) 2022年9月期第1四半期 3百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△45.00	-
2022年9月期第1四半期	0.99	0.98

(注) 1. 2021年9月期第2四半期末をみなし取得日として株式会社チャンピオン（現 株式会社チャンピオン76）を連結子会社化したことに伴い、2021年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年9月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	31,289	2,999	9.5
2022年9月期	30,509	2,586	8.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 2,987百万円 2022年9月期 2,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2023年9月期	-	-	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,830	33.3	1,700	69.8	1,100	42.2	620	62.6	168.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	3,780,800株	2022年9月期	3,448,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	52株	2022年9月期	52株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	3,613,553株	2022年9月期1Q	3,132,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下、各種政策の効果により、景気が緩やかに持ち直していくことが期待されております。しかしながら、ウクライナ情勢等を受けた資源価格上昇や円安による物価の上昇、世界的な金融引き締めなどが続くなか、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、2022年10月から2022年12月までの国内中古車登録台数は、830,921台（前年同期比6.6%減）と前年同期間を下回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、2022年10月に岐阜県土岐市に「グッドスピード MEGA SUVイオンモール土岐店」、愛知県春日井市に「GOODSPEED VANLIFE春日井店」、2022年11月に沖縄県豊見城市に「グッドスピード沖縄豊見城SUV専門店」、岐阜県土岐市に「CHAMPION76イオンモール土岐店」をオープンするなど、車、バイクにおける新車・中古車販売の拡大及び買取や整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、MEGA SUV清水島坂店の台風被害による休業があった一方、前期出店したMEGA専門店2店舗と当期出店したMEGA専門店1店舗が寄与した結果、12,838百万円（前年同期比6.5%増）となりました。しかしながら販売管理費の増加を吸収しきれず、営業損失は175百万円（前年同期は97百万円の営業利益）、経常損失は223百万円（前年同期は36百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は162百万円（前年同期は3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）という結果となりました。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

(自動車販売関連)

当第1四半期連結累計期間の四輪小売販売台数は、MEGA SUV清水島坂店の台風被害による休業があった一方、前期出店したMEGA専門店2店舗と当期出店したMEGA専門店1店舗が寄与した結果3,375台（前年同期比7.1%増）となりました。一方、中古車流通の減少に備え、買取した車両のオートオークションへの出品を抑えたことで、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,754百万円（前年同期比4.8%増）となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

(附帯サービス関連)

自動車販売台数増加に伴う当社顧客数の拡大及び整備工場の新設により整備件数が増加したことと、沖縄の観光需要回復によるレンタカー事業拡大により、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,084百万円（前年同期比29.4%増）となりました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、保険代理店、レンタカーを附帯サービス関連としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は18,902百万円で、前連結会計年度末に比べ367百万円減少しております。主な要因は、商品が3,006百万円増加した一方、現金及び預金が1,429百万円、売掛金が1,424百万円、前払金が806百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は12,386百万円で、前連結会計年度末に比べ1,146百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産のリース資産が1,291百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は20,283百万円で、前連結会計年度末に比べ1,190百万円減少しております。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が189百万円、リース債務が176百万円増加した一方、買掛金が942百万円、短期借入金が574百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は8,006百万円で、前連結会計年度末に比べ1,556百万円増加しております。主な要因は、長期借入金が296百万円、リース債務が1,263百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,999百万円で、前連結会計年度末に比べ413百万円増加しております。主な要因は、資本金が307百万円、資本剰余金が307百万円増加した一方、利益剰余金が197百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ計画から若干遅延しておりますが、2022年11月14日に「2022年9月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。今後の進捗状況等に応じ、精査の上、開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。なお、当該業績予想は本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,026,369	597,082
売掛金	4,012,540	2,587,592
商品	11,318,896	14,325,610
貯蔵品	2,877	3,349
前払金	1,280,872	474,687
前払費用	194,038	243,813
その他	433,853	670,253
流動資産合計	19,269,447	18,902,389
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,435,369	5,433,230
構築物（純額）	1,036,357	1,015,211
機械及び装置（純額）	83,789	82,730
車両運搬具（純額）	78,622	88,019
工具、器具及び備品（純額）	282,853	281,149
土地	1,487,787	1,487,787
リース資産（純額）	603,474	1,894,829
建設仮勘定	790,085	533,203
有形固定資産合計	9,798,340	10,816,162
無形固定資産		
のれん	52,571	47,573
ソフトウェア	16,273	22,863
リース資産	108,042	101,818
その他	6,555	6,555
無形固定資産合計	183,443	178,810
投資その他の資産		
出資金	868	868
保証金	891,732	955,792
長期前払金	108,604	107,302
長期前払費用	12,449	12,618
繰延税金資産	173,451	243,620
その他	71,506	71,766
投資その他の資産合計	1,258,613	1,391,968
固定資産合計	11,240,397	12,386,940
資産合計	30,509,844	31,289,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,680	1,180,246
短期借入金	14,095,450	13,521,334
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	2,232,854	2,422,543
リース債務	166,851	342,991
未払金	141,137	249,334
未払費用	272,214	293,655
未払法人税等	222,694	16,368
前受金	1,647,141	1,768,681
預り金	84,574	123,535
返金負債	253,928	223,606
賞与引当金	141,990	64,470
役員賞与引当金	9,700	-
その他	52,796	46,841
流動負債合計	21,474,014	20,283,609
固定負債		
長期借入金	5,258,204	5,554,916
リース債務	649,717	1,913,536
繰延税金負債	33,695	38,429
資産除去債務	25,080	25,133
長期前受金	482,943	474,393
固定負債合計	6,449,641	8,006,408
負債合計	27,923,655	28,290,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,209	1,007,004
資本剰余金	718,175	1,025,970
利益剰余金	1,151,758	954,661
自己株式	△112	△112
株主資本合計	2,569,031	2,987,523
新株予約権	17,157	11,788
純資産合計	2,586,189	2,999,311
負債純資産合計	30,509,844	31,289,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	12,059,169	12,838,586
売上原価	10,020,548	10,651,714
売上総利益	2,038,621	2,186,872
販売費及び一般管理費	1,941,083	2,362,511
営業利益又は営業損失(△)	97,537	△175,638
営業外収益		
受取利息	330	316
受取配当金	-	0
受取手数料	1,901	1,639
物品売却益	673	2,284
受取保険金	29	2,158
その他	2,194	1,113
営業外収益合計	5,128	7,514
営業外費用		
支払利息	45,955	50,921
支払手数料	19,850	4,055
その他	18	242
営業外費用合計	65,824	55,218
経常利益又は経常損失(△)	36,842	△223,343
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	36,842	△223,343
法人税、住民税及び事業税	12,240	4,702
法人税等調整額	21,483	△65,435
法人税等合計	33,724	△60,733
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,117	△162,609
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	3,117	△162,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,117	△162,609
四半期包括利益	3,117	△162,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,117	△162,609
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使により、当第1四半期連結累計期間において資本金が307,794千円、資本剰余金が307,794千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,007,004千円、資本剰余金が1,025,970千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。